

～正の数と負の数のかけ算～ めあて：正の数と負の数のかけ算で、符号が決定できる

※かけ算は下の2パターンに分かれる

同じ符号のかけ算： $\oplus \times \oplus$, $\ominus \times \ominus \Rightarrow$ 符号は+になる。 $\oplus$ (絶対値 $\times$ 絶対値)

異なる符号のかけ算： $\oplus \times \ominus$, $\ominus \times \oplus \Rightarrow$ 符号は-になる。 $\ominus$ (絶対値 $\times$ 絶対値)

～たしかめよう！～

【例1】 $(-7) \times (+4)$ の計算をしましょう。

教科書p.33 例1を見よう

$(-7) \times (+4)$ の計算では、

符号は、負の数 $\times$ 正の数で [-]

絶対値は、 $7 \times 4 = 28$

だから、 $(-7) \times (+4) = [-28]$

【例2】次の計算をしましょう。

教科書p.34 例2, p.35 例3を見よう

(1) $(+6) \times (-8) = -(6 \times 8) = [-48]$

(2) $(-5) \times (-9) = [+] (5 \times 9) = [45]$

～やってみよう！！～

【問1】 $(-3) \times (+6)$ の計算をしましょう。

$(-3) \times (+6)$ の計算では、

符号は、負の数 $\times$ 正の数で [-]

絶対値は、 $3 \times 6 = 18$

だから、 $(-3) \times (+6) = [-18]$

【問2】次の計算をしましょう。

(1) $(+4) \times (-6) = -(4 \times 6) = [-24]$

(2) $(-9) \times (-7) = [+] (9 \times 7) = [63]$

～といてみよう！～

① 次の計算をしましょう。

(1) $(+3) \times (+5) = +(3 \times 5)$
 $= 15$

(2) $(-8) \times (+8) = -(8 \times 8)$
 $= -64$

(3) $(+7) \times (-9) = -(7 \times 9)$
 $= -63$

(4) $(-7) \times (-5) = +(7 \times 5)$
 $= 35$

(5) $(-0.4) \times (+0.7) = -(0.4 \times 0.7)$
 $= -0.28$

(6) $(-\frac{3}{4}) \times (-\frac{8}{7}) = +(\frac{3}{4} \times \frac{8}{7})$
 $= \frac{6}{7}$

～ふりかえり・質問コーナー～

～問題集をやってみよう！～

p.